

おきなわの いろいろ 彩鳥

四季を告げる野鳥は沖縄の美しい自然そのもの。
希少な存在になってしまったものも少なくありません。
いつまでも守り続けたい生命の輝きがここにあります。



全長33cm。

主に奄美諸島以南に夏鳥として渡来し、
海岸の岩礁や小島などで集団繁殖します。
オーストラリアのグレートバリアリーフで越冬することが、
近年の調査で確認されました。
海上を飛翔しながら小魚を見つけ、
海面にダイブして捕らえる姿が
県内各地の沿岸域で見られます。
人が近づくと、繁殖地を放棄する事があります。

コバルトブルーの海に夏を運んでくる渡り鳥
「ベニアジサシ」



チドリ目カモメ科 *Sterna dougallii*
レッドデータ沖縄「準絶滅危惧」、環境省レッドリスト「絶滅危惧Ⅱ類」に分類



Photographer
小原 祐二・Obara Yuji

1968年鹿児島県生まれ。琉球大学生物学科卒業後、沖縄で環境調査に従事。
ウェブサイトおきなわかエル商会を運営、沖縄の自然を紹介している。
HP <http://www.okinawa-kaeru.net>